

研究者：石原 匠

(所属：北海道医療大学歯学部 口腔構造・機能発育学系 保健衛生学分野)

研究題目：健康保険データを用いた咀嚼不良ハイリスク者を同定する要因に関する検討

目的：

2018年度の特健康診査の標準的な質問票に咀嚼の項目が導入され、咀嚼と全身状況との関連について重要視されるようになった。歯周病と残存歯数との関連について報告はされているが、歯周病と咀嚼状況との関連についての報告は少なく、咀嚼状況が悪化するプロセスやその予測因子については、歯の喪失が徐々に進む年代での公的な歯科検診制度が幅広く行われていないことも影響し、不明な点が多い。

そこで、本研究では健康保険のデータと特定健診等情報を用いて、中小企業に勤務している者およびその扶養者における歯周病・歯周治療と咀嚼状況との関連について検討する。

対象および方法：

全国健康保険協会（協会けんぽ）北海道支部加入者の中で、2018年に特定健康診査等を受診した者188,190名を分析対象とした。歯周病・歯周治療と咀嚼状況の関連を検討するために、2018年の歯科レセプトを用いて「歯科受診なし」、「歯周算定なし」、「スケーリング」、「スケーリング・ルートプレーニング（SRP）」、「歯周外科手術」、「歯周病安定期治療（SPT）」の6つの歯科受診状況に区分した。咀嚼状況については、特定健診の咀嚼の質問項目（なんでも噛める、噛みにくい、ほとんど噛めない）を用いて「なんでも噛める」と「噛みにくい・ほとんど噛めない」の2つに区分した。2018年の咀嚼状況の区分を目的変数、2018年の対象者分類とその他の関連変数（年齢、性別、喫煙状況、服薬状況、メタボリックシンドロームの有無）を説明変数とするロジスティック回帰分析を行った。

結果および考察：

咀嚼状況の分類におけるロジスティック回帰分析の結果を表1に示す。

対象者の基礎情報の中で、年齢では、「35～44歳」を基準とした場合、「45～64歳」および「65～74歳」で咀嚼状況が悪い人が多かった（45～64歳：オッズ比1.95、65～74歳：オッズ比2.83）ことから、年齢が高ければ高いほど咀嚼状況が悪化する可能性が高いことが示唆された。喫煙状況では、「非喫煙者」を基準とした場合、「喫煙者」では咀嚼状況が悪い人が多かった（喫煙者：オッズ比1.62）ことから、喫煙者では咀嚼状況が悪化する可能性が高いことが示唆された。高血圧症、糖尿病、脂質異常症の服薬状況では、それぞれ「非服薬者」を基準とした場合、「高血圧症」と「糖尿病」の服薬者で咀嚼状況が悪い人が多かった（高血圧症：オッズ比1.13、糖尿病：オッズ比1.12）ことから、高血圧症と糖尿病の服薬者では咀嚼状況が悪化する可能性が高いことが示唆された。メタボリックシンドロームでは、「非該当者」を基準とした場合、「該当者」で咀嚼状況が悪い人が多かった（該当者：オッズ比1.09）ことから、メタボリックシン

ドローームに該当すると咀嚼状況が悪化する可能性が高いことが示唆された。

歯科受診状況においては、「歯科受診なし」を基準とした場合、「スケーリング」、「SRP」、「歯周外科手術」で「噛みにくい・ほとんど噛めない」対象者が有意に多かった（スケーリング：オッズ比 1.05、SRP：オッズ比 1.19、歯周外科手術：オッズ比 1.76）ことから、歯周病の存在により咀嚼状況が悪化する可能性が示唆された。一方、「SPT」では「噛みにくい・ほとんど噛めない」対象者が有意に少なかった（SPT：オッズ比 0.93）ことから、定期的に SPT を受けることで咀嚼状況の安定化につながる可能性が示唆された。

表1 2018年度の咀嚼状況におけるロジスティック回帰分析

		2018 年度		
		オッズ比	95% 信頼区間	n
年齢	35～44 歳	1.00		35,343
	45～64 歳	1.95	1.88—2.02	127,511
	65～74 歳	2.83	2.70—2.96	25,336
性別	男性	1.00		127,969
	女性	0.90	0.88—0.93	60,221
喫煙	喫煙者	1.62	1.58—1.66	71,529
服薬状況	高血圧症	1.13	1.09—1.16	36,322
	糖尿病	1.12	1.07—1.17	11,557
	脂質異常症	0.98	0.94—1.02	24,132
メタボリックシンドローム	非該当	1.00		127,543
	予備群	0.99	0.95—1.02	26,220
	該当	1.09	1.05—1.13	34,427
歯科受診状況	歯科受診なし	1.00		112,608
	歯周算定なし	1.00	0.97—1.04	30,769
	スケーリング	1.05	1.01—1.09	24,413
	SRP	1.19	1.13—1.24	13,012
	歯周外科手術	1.76	1.47—2.11	588
	SPT	0.93	0.88—0.98	6,800

成果発表：（予定を含めて口頭発表、学術雑誌など）

なし